

「トピックス」 令和7（2025）年度

第11回 「教育への情熱と、未来へ繋ぐメッセージ」

このたび、安芸太田町立加計中学校沖本直樹校長が、長年にわたる教育実践とその成果が高く評価され、「広島県教育賞」を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

この受賞を、沖本校長は決してご自身一人の功績とは捉えておられません。日々教育活動に力を尽くしてこられた教職員の皆さん、学校を支えてくださった地域の方々、そして町教育委員会をはじめとする関係者すべての協働の成果であると、深い感謝とともに語っておられます。この姿勢そのものが、沖本校長の教育観を象徴していると言えるでしょう。

ところで、沖本校長の教育実践の大きな柱の一つに、「協調学習」があります。子ども同士が対話を通して学びを深めるこの授業づくりは、本町において長年にわたり研究と実践が積み重ねられてきています。その過程では、「一般社団法人教育環境デザイン研究所 CoREF」からの継続的な指導・助言を受けながら、授業力と学びの質を高める取組として発展してきました。こうした実践は、研究発表会や研究大会を通じて発信され、本町の教育の姿を県内外に示す力ともなっています。

「人を大切にすること」「人権を大切にすること」を、沖本校長は一貫して大切にされてこられました。この理念は、教職生活の原点である加計の地で生まれ、38年間変わることなく教育の根幹として息づいてきました。町の教育支援により、学校が子どもたちにとって安心・安全な生活の場となっている、そして教職員が誇りと喜びをもって働ける環境が整えられていることが、こうした実践を支える重要な土台となっているという言葉は印象的です。

沖本校長は、受賞を一つの節目としながらも、なお「子どもたちに確かな力をつける教育」を追求し続ける決意を語っておられます。その謙虚で誠実な姿勢は、私たち教育に携わる者すべてにとって、大きな学びであり、励ましでもあります。

今回の受賞を、町民の皆さんとともに喜び合うと同時に、安芸太田町の教育がこれまで培ってきた歩みと、これからの可能性を改めて見つめ直す機会としたと思います。

今後とも、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実に、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

安芸太田町教育委員会 教育長 大野 正人

＜注＞＊広島県教育賞：学校教育、社会教育、体育・スポーツ、地域文化、教育行政分野を対象とし、功績が特に顕著なものを広島県教育委員会が表彰し、県教育の振興・発展に寄与することを目的としています。